

## 認定心理士認定委員会より

## 1. 認定心理士第3回研修会

認定心理士の第3回研修会が平成22年9月20日の日本心理学会第74回大会中に大阪大学豊中キャンパスにおいて開催された。事前申し込みを行って、当初予定していた会場の定員(170名)を超える申し込みがあったので、急遽、会場を変更することになった。そのため当日、日本心理学会会員以外の方には、会場を探すのに苦労があったようである。そして申込者数は282名となり、実際の参加者数は280名であった。内訳は認定心理士220名、一般37名、残りは日本心理学会の会員ということであった。参加者の内訳からみれば、認定心理士向けの研修会としては大盛況であったといえる。しかし、教室の変更が開催の直前であり、事前に予定のなかった資料のコピーを当日に行うなど、多くの出来事が重なり、また当日参加も受け付けたことなどもあって、時間通りの開始とはならなかった。参加者の中にはこうしたことでアンケートに苦情を書かれている方がいた。このことについては、主催者側としてお詫

び申し上げなければならない。しかし、そうは言うものの会場の設営その他で尽力された大阪大学の担当者、ならびに予定以上の参加者に対応した事務局の尽力には改めて感謝を申し述べたい。

さて、研修会のテーマは「初めて出会う認知行動療法」であった。研修会後に回収されたアンケートの感想は、約半数の参加者から寄せられた。短い時間にもかかわらず、長い感想が多く、今回の研修会への関心の高さがうかがわれた。「よかった」「参考になった」という内容が多く、さらには「わかりやすかったが、時間が短かった」「もっと長くてもよかった」と付け加えられていた。「じっくり聞きたかった」という要望に、「現実に使ってみたいので具体的な話をもう少し聞きたかった」という要望も含まれての感想のようであった。また、今後の要望としては「テーマに『初めて』とあるので、続く研修会を期待したい」というものもあった。

今回のアンケートを読んでもらうと、認定心理士の中には、基礎的な知識を学びたいといった人もいれば、現場で実践したいと考えている人もいて、関心や期待の幅が広いということがよく理解でき

る。こうした期待に応えられるように、今後も研修会を企画していきたいと考えている。

## 2. 認定心理士教科書作成について

認定心理士教科書作成小委員会(委員長・久野雅樹)では、教科書の原稿執筆者に執筆依頼を出し、9月末日を原稿締め切りと設定していた。しかし、締切日を過ぎても、まだ原稿の集まりは3分の1程度である。今後速やかに原稿が集まることと思われる。

なお、本を制作する出版社はすでに決定しており、今後は出版社と共同で編集作業が行われる。

## 3. 平成23年度研修会について

認定心理士研修小委員会が平成22年9月21日の日本心理学会第74回大会中に開催された。平成23年度の研修会の企画について話し合わせ、地方心理学会との共催で研修会を企画することが確認され、いくつかの地方学会に打診することとなった。決まり次第、日本心理学会のHPなどで広報する予定である。

(日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 横田正夫)

## 編集後記

昨年の今頃、心理学ワールドの編集委員をお引き受けしてから、あっという間に1年が経ちました。学会に参加していても、発表とは別に、心理学ワールドのネタ探しをしている自分の姿に、われながら感心しています。9月からは副委員長というより責任の重い役回りを引き受けることになりました。これまでこうした学会任務とは縁遠かったこともあり、不安もありますが、残り3年の任期を自分なりに楽しんでみたいと思っています。(宮本聡介)

## 編集委員(五十音順)

編集委員長	仲真紀子	北海道大学
編集委員	青山謙二郎	同志社大学
	久保南海子	愛知淑徳大学
	櫻井研三	東北学院大学
	三宮真智子	大阪大学
	柴崎光世	明星大学
	杉浦義典	広島大学
	深谷優子	東北大学
	宮本聡介	明治学院大学
	森岡正芳	神戸大学
	渡邊芳之	帯広畜産大学

心理学ワールド [52号] 2011年1月15日発行

年4回発行(1月、4月、7月、10月)

発行人—繁 樹 算 男

編集・発行—(社)日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—銀河

制作—(株)新曜社